



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社キャリアインデックス
コード番号 6538 URL <https://careerindex.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 板倉広高
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 齋藤武人
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5795-1320

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	888	16.1	109	54.0	109	53.9	48	68.2
2023年3月期第1四半期	765		238		237		151	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 48百万円 (68.2%) 2023年3月期第1四半期 151百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	2.37	2.36
2023年3月期第1四半期	7.31	7.30

(注) 2023年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,791	3,692	63.8
2023年3月期	5,964	3,695	62.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 3,692百万円 2023年3月期 3,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		2.50	2.50
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,850	15.2	801	50.3	800	52.3	404	53.7	19.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	20,968,800 株	2023年3月期	20,968,800 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期1Q	671,121 株	2023年3月期	671,121 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	20,297,679 株	2023年3月期1Q	20,697,679 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の活動制限の緩和が進み、景気回復が期待されました。一方で、ウクライナ情勢による地政学リスクや原油高、米国の金利上昇、円安等による経済の不確実性は高く、先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、マーケティング事業及びDX事業において事業を運営してまいりました。マーケティング事業においては、HR領域では、特に正社員採用におけるスカウト型サービスが拡大している背景もあり、当社のユーザーデータベースを活用したビジネスモデルの確立を進めてまいりました。不動産領域では、従来のBtoC向け賃貸サービスの機能改善やWebマーケティング強化を進めるとともに、昨年よりサービス運営を開始しているBtoB向け賃貸サービスの強化等を進めてまいりました。DX事業においては、機能の改善および拡充、新機能の開発、販売の強化等を進めてまいりました。

なお、ContractS株式会社においては、前第1四半期連結会計期間の期末をみなし取得日としているため、前第1四半期連結会計期間の業績には含まれておりません。ContractS株式会社は赤字であることから、前年同四半期比で利益面を押し下げる要因となりましたが、ContractS株式会社の事業は拡大傾向が続いております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は888百万円(前年同四半期比16.1%増)となりました。また、営業利益は109百万円(前年同四半期比54.0%減)、経常利益は109百万円(前年同四半期比53.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は48百万円(前年同四半期比68.2%減)となりました。

セグメント別の経営成績は以下の通りとなります。

(マーケティング事業)

マーケティング事業においては、HR領域及び不動産領域でのサービスを展開しております。

HR領域では、人手不足による企業の採用意欲は高いものの、昨年からのCPA高止まりもあり、積極的にWebマーケティングにコストを投下して売上高を伸ばす環境ではありませんでしたが、当社のユーザーデータベースを活用した新たな収益モデルの構築を推進いたしました。具体的には、AIを活用した求人レコメンドの精度向上、スカウトによるダイレクトリクルーティング向けサービスの強化、コンシェルジュによりユーザーと直接対話をしたうえで求人情報の提供を図るなど、従来の「検索」型のサービスに加え「提案・対話」型のサービスを提供することで、ユーザーの転職活動のサポートを強化するとともに、ユーザーデータベースの活用による収益化を進めてまいりました。

不動産領域では、BtoC向け賃貸サービスの改善や機能拡充に加えて引越しをはじめとした付帯サービスの強化を図るとともに、前期よりサービス運営を開始しているBtoB向け賃貸サービスの営業強化による売上高拡大を図ってまいりました。また、BtoC向けサービスとBtoB向けサービスの連携、BtoB向けサービスのユーザーに対するクロスセル商材の開発等の準備を進めてまいりました。

以上の結果、売上高は754百万円(前年同四半期比4.6%増)、セグメント利益は168百万円(前年同四半期比27.8%減)となりました。なお、領域別の売上高の内訳は以下の通りとなります。

HR	362百万円
不動産	390百万円
その他	1百万円

(DX事業)

DX事業においては、HR領域のデータベースを活用した営業支援サービス「Leadle」、Web面接ツール「BioGragh」、契約マネジメントシステム「ContractS CLM」において、機能拡充、新機能開発および販売強化を進めてまいりました。なお、ContractS株式会社においては、前第1四半期連結会計期間の期末をみなし取得日としているため、前第1四半期連結会計期間の業績には含まれておりません。ContractS株式会社は赤字であることから、前年同四半期比でセグメント利益を押し下げる要因となりましたが、ContractS株式会社の事業は拡大傾向が続いております。

以上の結果、売上高は134百万円(前年同四半期比204.8%増)、セグメント損失は59百万円(前年同四半期比はセグメント利益4百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産残高は5,791百万円となり、前連結会計年度末に比べ173百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少90百万円、顧客関連資産の減少53百万円、のれんの減少26百万円によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は2,098百万円となり、前連結会計年度末に比べ170百万円減少しました。これは主に、長期借入金の減少106百万円、未払金の減少89百万円によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は3,692百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払いの差し引きの結果、利益剰余金の減少2百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現在入手可能な情報に基づいておりますが、今後の不確定要素により、実際の業績と異なる場合があります。なお、現時点での業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,327	2,236
売掛金	371	382
その他	61	55
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	2,759	2,673
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18	18
その他(純額)	5	4
有形固定資産合計	24	22
無形固定資産		
ソフトウェア	52	48
のれん	768	742
顧客関連資産	2,280	2,226
無形固定資産合計	3,102	3,017
投資その他の資産		
投資有価証券	2	2
敷金	44	43
会員権	23	23
その他	8	8
投資その他の資産合計	78	77
固定資産合計	3,205	3,117
資産合計	5,964	5,791
負債の部		
流動負債		
買掛金	27	26
未払金	363	273
未払費用	28	14
契約負債	92	99
未払法人税等	75	67
未払消費税等	5	37
預り金	6	14
賞与引当金	1	7
1年内返済予定の長期借入金	429	424
その他	0	0
流動負債合計	1,031	966
固定負債		
長期借入金	1,179	1,073
繰延税金負債	58	58
固定負債合計	1,237	1,131
負債合計	2,269	2,098
純資産の部		
株主資本		
資本金	395	395
資本剰余金	377	377
利益剰余金	3,192	3,189
自己株式	△269	△269
株主資本合計	3,695	3,692
純資産合計	3,695	3,692
負債純資産合計	5,964	5,791

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	765	888
売上原価	72	146
売上総利益	692	741
販売費及び一般管理費	454	631
営業利益	238	109
営業外収益		
受取利息	0	0
雑収入	0	3
営業外収益合計	0	3
営業外費用		
支払利息	0	2
為替差損	0	1
雑支出	0	0
営業外費用合計	1	3
経常利益	237	109
税金等調整前四半期純利益	237	109
法人税等	86	61
四半期純利益	151	48
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	151	48

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	151	48
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	151	48
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	151	48
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	マーケティング 事業	DX事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	721	44	765	—	765
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	0	△0	—
計	721	44	765	△0	765
セグメント利益	233	5	238	0	238

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、ContractS株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、「DX事業」セグメントにおいてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、505百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	マーケティング 事業	DX事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	753	134	888	—	888
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	△0	—
計	754	134	888	△0	888
セグメント利益又は損 失(△)	168	△59	109	0	109

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

(顧客との契約から生じる収益を分解した情報)

財又はサービスの種類別に分解した顧客との契約から生じる収益は以下の通りであります。

(単位：百万円)

	売上高	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
マーケティング事業	721	753
転職	227	192
アルバイト・派遣	191	169
不動産	301	390
その他	—	1
DX事業	44	134
Leadle	24	26
マージナル	19	12
ContractS	—	95
顧客との契約から生じる収益	765	888
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	765	888